

単元名：かけ算

「かけ算(1)」

(全○時間扱い中 第8時)

授業日時 令和3年10月22日(金)第3校時

授業学級 2年2組

授業会場 2年2組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立て&ねらい)

5の段や2の段、3の段の九九を構成し、規則性を見つけてきた子ども達が、4の段の九九の規則性やきまりを探してみたいと願う場面で、学習したことを活かしながら、同数累加の考えやかける数が1増えると答えが4ずつ増えるということに着目して考えることを通して、4の段の九九を構成し、4の段のきまりやかけ算の規則性に気付くことができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間		
導入	1. 問題を把握する。	「絶対4の段」	四つ葉のクローバーの図を提示し、今日の授業では何の段について考えていくのかを予想する。	3分		
	【学習問題】4の段の九九について考えよう。					
導入	2. 前時までの振り返り	「2の段の時は、2ずつ増えた」 「5の段の時は、1の位が0と5だけだった」	5の段や2の段、3の段の九九を構成したときにはどのようなきまりが見つかったのかを確認する。 ※4の段のきまりを発見できるように、既習事項である5の段や2の段、3の段の九九に注目させる。	5分		
	【学習課題】4の段の九九を作って、きまりを見つけよう。					
展開	3. 4の段の九九の構成を完成させる。	「ひとつ前の数字に4を足せば簡単に計算できる」 「図を使えばわかりやすい」 「全部足してみよう」	「早く終わった人は気づいたことを書いてみよう。」と言い、4の段のきまりに注目させる時間を長めにとる。 ※机間指導で子ども達の様子を見て、適宜指導する。 ※意見は机間指導をしている際に軽く共有し、子ども達の興味や関心を高められるようにする。	10分		
	4. 友達の気づきや考えに触れる。	「僕と同じ考えだ。」 「これってどういうこと？」			意見交流をする時間をとり、思考を整理する時間をとる。	3分
	5. 気づいたことを共有する。	「4ずつ増えていくから、前の数に4を足すと次の数が求められる。」 「1の位は、4→8→2→6→0の繰り返しだ。」			「何か気づいたことある人いるかな」と問い、4の段の規則性に気付かせる。 ※拡大投影機を用いて児童たちが考えたことを電子黒板に映し、全体共有する。	14分
	6. 4の段の九九の唱え方を学習する。	「よんいちがよんじゃだめなの？」 「4ずつ増えることを知っているのと、九九より先のことも分かるね」			全員で4の段を唱え、九九の理解を高める。 ※時間があれば、4×15まで取り上げ、九九の規則性を知っていることの必要感を高める。	5分
終末	7. 振り返りをする。	「4の段は2の段と答えがかぶるのが多い。」 「前の答えに足していくと簡単に答えが出た。」 「6とか7の段やりたい！」	「2～5の段までやってみただけ、何か分かったことありましたか？」と発問し、今日の学習とこれまでの学習を振り返る。 また、「他にやってみみたい段ある」と問い、次時につなげる。	5分		

【本時の評価(評価する対象)】

4の段の九九を構成することを通して、4の段のきまりやかけ算の規則性に気付くことができる。(ワークシート・机間指導)